

保護者様

田之筋小学校 校長 井関 修三

令和6年度【前期】田之筋小学校 学校評価（考察）

学校評価アンケートに御協力いただきありがとうございました。結果及び考察、御意見への対応等について取りまとめましたので、御覧ください。今後とも本校教育活動への御理解・御協力をお願いいたします。

経営の重点	番号	経営の目標	対象	肯定率 (%)	評定	考 察
校訓について	★	校訓「まごころ」を意識した教育活動	職員	100	A	「やる気」と「まごころ」いっばいの田之筋小という目指す学校像が、教育活動全般を通じて学校内外に浸透してきている。
			児童	98.9		
			保護者	97.0		
確かな学力の定着・向上と学習習慣の確立	1	楽しく分かる授業	職員	90.0	A	「分かる」が実感できる授業実践とICT機器を積極的に活用した授業改善に取り組んでいる。学習用パソコンを活用したドリル学習により、進度に合わせて基礎・基本の定着が図れた。今後も効果的な活用法について研修を進め、授業改善や個に応じた指導に努めていく。 児童と保護者について家庭学習や読書に関する肯定率が低くなっている。学校では、「よみっこ」による読み聞かせや学年に応じた選書指導など、読書の面白さを子供たちに伝える場を設定し、読書活動の充実に努めている。家庭での学習・読書習慣が定着するよう学習の見届けや声掛け、PTA主導による親子読書（家読）の協力を呼び掛けていく。
			児童	95.8		
			保護者	86.5		
	2	学力向上	職員	100	A	
			児童	93.7		
			保護者	82.1		
	3	家庭学習	職員	100	B	
			児童	87.4		
			保護者	65.6		
			4	読書活動	職員	
	児童	88.4				
	保護者	50.7				
個性を伸ばし自己教育力を高める教育	5	あいさつ	職員	100	A	
			児童	94.7		
			保護者	85.1		
	6	目的意識	職員	100	B	
			児童	93.7		
			保護者	73.2		
	7	個人の尊重	職員	100	A	
			児童	96.9		
			保護者	89.6		
	8	教育相談	職員	100	A	
			児童	98.9		
			保護者	82.1		
豊かな感性とたくましく生きる力	9	思いやり・生命尊重	職員	100	A	「まごころ」体験を重視した豊かな体験活動の成果が、思いやりや生命尊重の高評価に現れている。 今年度、学校では全学年で歯みがき指導に力を入れており、生活習慣の見直しを図ることができた。また、避難訓練の計画を見直し、地震や不審者への対応訓練をより具体的な方法で取り組んだ。放課後の水泳・陸上練習、夏休みの水泳教室など、児童の体力向上にも努めた。 保護者の肯定率が下がっている項目から、生活習慣の乱れや運動習慣の二極化が見られる。それらがゲームやSNS等の依存と関係していないか心配である。今後も家庭と連携しながら改善を図りたい。
			児童	98.9		
			保護者	97.0		
	10	生活習慣	職員	100	A	
			児童	97.9		
			保護者	85.0		
	11	自分の命を守る力	職員	100	A	
			児童	96.8		
			保護者	86.6		
	12	体力づくり	職員	100	A	
			児童	91.5		
			保護者	79.2		

家庭・地域との連携・協力	13	家庭・地域との連携	職員	90.0	A	<p>緑の少年団活動など、学校・家庭・地域が連携しながら、一体となって活動できている。</p> <p>安全・安心な信頼される学校づくりを推進するために、ホームページや「すぐる」を適切に活用して、効果的な情報提供ができた。どの学年も定期的に学級通信でタイムリーな様子を伝えるようにする。</p>
			児童			
			保護者	91.0		
	14	家庭・地域への情報発信	職員	100	A	
			児童			
			保護者	94.0		
教職員の専門性と人間性	15	職責と心構え	職員	100	B	
			児童			
			保護者			
	16	業務改善	職員	70.0		
			児童			
			保護者			

肯定率は、回答でA（よく当てはまる）又はB（やや当てはまる）を選んだ割合です。肯定率の平均が90%以上を評定A、80%台を評定B、70%台を評定C、それ以下を評定Dで評価しています。

<p>【保護者からの御意見と対応等】 ○本校の取組でよい点 ●改善してほしい点 ※対応等</p> <p>○ 学校ホームページの毎日の更新や「すぐる」を活用した文書配信、学級通信や運動会通信の定期的な発行など、学校行事や学級の様子がよく伝わってくる。「田之筋小ガイド」は学校の基本情報が一つにまとめられていてよく分かる。</p> <p>○ 運動会の内容や時間設定など、丁度よかった。子供たちが個性を発揮しながら、きびきびと頑張る姿が素晴らしい。卒業生がたくさん手伝いに参加していることもよい伝統だと思う。</p> <p>○ 緑の少年団活動（花植え・田植え・稲刈り・餅つき）など、学校と地域が連携しながら一緒に活動できる行事がたくさんある。</p> <p>○ 子供たちの個性を大切にされた教育や良いところを褒めて伸ばす細やかな指導が行われている。個人的な問題でも学校全体で考え対応したり、学年の枠を超えて見守ったりする体制があり、相談しやすい。</p> <p>○ 一度習った項目を定期的に振り返り、確認の宿題として取り組ませていることは、学習内容の定着につながっていると思う。</p> <p>○ まごころ集会で、劇を取り入れながら発表しているのがよい。</p> <p>○ 挨拶、朝活動、掃除、読書、陸上・水泳の指導を熱心に行っている。</p> <p>● <u>児童への指導の仕方（一部児童への厳しい指導や大きな声での指導）や言葉遣いなど、児童への接し方が気になる。</u></p> <p>※ 児童一人一人に寄り添った指導・支援をしていくことを共通理解しました。「言葉」については、教師がよい手本になるよう確認しました。児童・保護者の信頼が得られるような、厳しさの中にも温かみのある、児童の心に響く指導・支援を行っていきます。</p> <p>● <u>学校での体調不良や友達とのトラブルは、些細なことでも家庭への連絡がほしい。また、適切な対応をお願いしたい。</u></p> <p>※ 体調不良が回復した場合でも、体育を見学したり、保健室を利用したりした場合は、必ず保護者へ連絡を入れること、友達とのトラブルについては、学校で解決済みであっても、状況によっては、保護者へ連絡を入れることを全職員で確認しました。熱中症や発熱を伴う感染症については、養護教諭と連携して、丁寧な対応を心掛けていきます。</p> <p>● <u>学級通信の発行頻度が学年によってまちまちである。「すぐる」などを活用し、文章は少なくともよいので学校での様子を写真で紹介してもらえると、親子間のコミュニケーションを図るきっかけになる。</u></p> <p>※ 学校ホームページで毎日学校の様子を伝えていますが、学級通信に関しては、学級担任の裁量に任せています。児童の成長や頑張っている様子を計画帳や電話で個々に共有している場合もありますが、情報発信・共有のツールの一つとして「すぐる」を活用した学級通信の発行にも可能な範囲で取り組んでいきます。</p> <p>● <u>授業の進度や自主学習のやり方が個々のレベルにあっていないので改善してほしい。</u></p> <p>※ 年間指導計画に沿って学習を進めるため、授業の進度や宿題、自主学習の方法等で、児童によっては個別な対応が必要な現状もあります。放課後の個別学習で補充をしたり、個人の特性に応じて家庭学習の方法や分量を考慮したりするなど、ICT機器も活用しながら、個別最適な学びを目指していきます。</p> <p>● <u>昨年度からお願いしている「たのべん」についての説明がほしい。</u></p> <p>※ 学校でも「たのべん」への取組について見直しの必要性を感じてはいますが、本校の特色ある取組の一つとして、楽しみにしている児童も多いです。今年度は、人権・同和教育参観日の後、「たのべん」の取組を説明し、共通理解を図ってから5・6年生で実施したいと思います。</p> <p>※ そのほか、故紙回収、運動会の開催曜日、夏休みのラジオ体操、感染症情報の提供、朝の見守り当番、音楽発表の場についての御意見をいただきました。学校だけでは即答できない内容になることから、PTA学校運営委員会や学校運営協議会等で議題に取り上げ、協議していきます。行事についてはホームページに掲載している年間行事や田之筋小ガイド等で確認できるようにしています。以上、たくさんの御意見ありがとうございました。今後も気になる点がございましたら、その都度、学校までお知らせください。</p>
